

のせて  
碑保存会総会



# 西川町 議会だより

「女性」シリーズ

「岩根沢うたおう会」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります

2015.7.15 93号

発行 山形県西川町議会

6月定例会報告	2頁
補正予算	4
第3セクターの経営状況	6
一般質問	7
改選後の初議会	10
選挙公約	12
議会と町民の対話の集い開催	17

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。

# 町民体育館の新築概要 全体事業費で約10億円

平成27年6月定例会は、6月3日から9日まで7日間の開催でした。町からは町有林運営委員の任命や補正予算など5件の案件と、1件の条例の一部改正が提出されました。議会からは3件の請願を審査し、2件の意見書を提出しました。一般質問は4人の議員が6件について行いました。

6月3日の議会全員協議会で、町民体育館の新築概要が提示されました。平成23年12月に初めて議会に体育館改修が提案されてから、これまで二転三転し、今回全体事業費で10億円程度と説明がありました。

また、現在の体育館は高齢者の方の移動や物品の搬入などが困難であり、建物としての安全性、体育館に求められる機能、また多様な利用に応えられる施設として、新築したいとの報告がありました。体育館はこれまで、運動をする人だけの場所であつ

て、家族や友人が観戦したり、応援ができる場所がありませんでした。今は運動をする人、観る人が一体となって運動を楽しむことができるような観客席の必要が求められています。また、冬期間にこれまで1階で練習されていたゲートボール場は、ゲートボール協会と話し合いの結果、旧睦合小学校体育館を活用することに決定されました。町から、実施設計の仕事を7月初めに議会に提示し、協議したいとの申し入れがあつたので、今後議会でも十分検討していきたいと

思います。

## 質疑・応答

**問** 町長の身の丈に合った体育館新築というのは、人口動態や少子高齢化をみた場合、この新築計画を出してきた配置図、面積ということか。

**答** 少子高齢者の中で、いかに高齢者が趣味をもち、スポーツを楽しむ、

仲間をつくるのが大事だと思われる。高齢者の健康増進、認知症対策を含め高齢者にとつての生きがいや、いかに社会参加するかなど特に高齢者にやさしい体育館を考えている。また今後の財政計画、財政負担も含めて、今ある面積だけは確保したいと今回の整備となった。今後、各種体育団体等と話し合いをしていきたい。



▲昨年の家庭婦人バレーボール大会

**問** 文科省の補助金（学校施設環境改善交付金）は、社会体育施設体育館に使えるのか。

**答** 地域の屋内スポーツ施設も、要綱の1つに入っているので可能である。

**問** 現在の体育館は、トレーニングルームやシャワー室がほとんど使われていない。この補助金では、シャワー室などを設置しないと受けれない。別の補助金制度はないのか。

**答** 他の補助金も調査したが、この文科省の補助金が一番有利だった。

**問** 西川町産材をどの程度使うのか。検討はしたのか。

**答** 内装材はできるだけ木材を使用する。検討はしている。

## 町民体育館の整備概要

**問** 平成何年度に完成させたいのか。

**答** 平成29年度の降雪前には完成する予定だ。

**①場所** 現体育館解体後の場所とする。

**②規模** 鉄筋コンクリート2階建てで、現体育館と同規模のアリーナを1階に、2階に観客席を設置する。

**③観客席** 200〜240席程度確保する。

**④走路** 走ったり歩いたりする通路は、2階部分に確保する。

**⑤暖冷房設備** アリーナ内には暖房設備を設置し、冷房設備は設置しない。（会議室等は個別エアコンによる暖冷房）

**⑥ゲートボール場** 旧睦合小学校体育館を活用する。

## 今後の検討事項

①カーナビの置場等屋外の倉庫の確保

②ゲートボール場としての旧睦合小学校体育館の耐震化及び改修

③建設期間中の代替え施設の確保（旧小学校体育館、西川小体育館、西川中体育館）

④建設期間中に開催されるスポーツ大会等の取り扱い（関係団体、競技団体等との協議）



▲町民体育館1階でのゲートボール大会

# 豪雪の助っ人 大型除雪ドーザー購入を可決



▶ 間沢地内を除雪中の11t級除雪ドーザー

**購入金額**  
1千587万6千円

**購入先**  
コマツ山形(株)山形支店

**財産購入**  
現在の除雪ドーザー(11t級)が古くなったので、新たに1台更新することについて、全員賛成で可決しました。

## 財産購入

## 人事案件

☆西川町町有林運営委員  
佐藤 征男さん(大井沢)  
(全員賛成)

☆議会推薦の農業委員  
奥山 敏行議員  
(賛成7、反対1)

## 条例の一部改正

☆西川町介護保険条例  
第1号被保険者の保険料を軽減するもの  
(全員賛成)



# 請願審査 意見書の提出

3件の請願があり、審査の結果2件が全員賛成で採択され、1件が継続審査となりました。採択された請願は、関係大臣に意見書を提出します。

**採択された請願の意見書**

☆『平和安全法制』法案の徹底審議を求める意見書  
「平和安全法制」の内容は、集団的自衛権の行使といった憲法9条の解釈の変更、自衛隊の活動範囲の拡大など多くの疑問がある。このような疑問を国民が納得するまで、国会審議を通じて分かりやすく丁寧に説明し、徹底審議することを求める意見書 (全員賛成)

☆TPP交渉に関する意見書  
TPP協定交渉参加にあたり、米や牛・豚肉などの重要品目については、「除外または再協議」を国会決議で求めているが、日米2国間協議は大きく進展、牛・豚肉の関税引き下げ、米国産米の「特別輸入枠」の設定など国会決議に反した重要品目の大幅譲歩を進めている。このようなことに対し、国会決議を守り、守れない場合は、TPP交渉から撤退することを求める意見書 (全員賛成)

☆『平和安全法制』法案の廃案を求める意見書の請願

**継続審査となった請願**

# 補正予算

一般会計は、当初予算額に4,682万円を追加して54億8,082万円に、簡易水道特別会計は647万円を追加して8,451万円に、水道事業会計資本的支出は40万円を追加して6,902万円になりました。

(全員賛成)

## 主な補正予算

(万円未満四捨五入)

<b>■衛生費</b>	
一次診療休日当番委託料	82万円
未熟児養育医療扶助費	75万円
簡易水道特別会計繰出金	647万円
<b>■農林水産業費</b>	
月山のめぐみ総合産業基盤調査業務委託料	100万円
電気柵導入による鳥獣被害対策事業補助金	70万円
仁田山放牧場臨時監視員に係る賃金等	56万円
山の幸振興対策支援事業補助金	70万円
<b>■土木費</b>	
吹上団地地盤改良工事	160万円
融雪遅延対策事業補助金	288万円
町道梅沢根際線外2路線に係る補償費	550万円
町営住宅の修繕等	110万円
みどり団地テレビ共聴共同受信施設修繕料	184万円
妙見ヶ池等整備工事費	200万円
<b>■消防費</b>	
吉川地内消火栓更新工事	40万円
<b>■教育費</b>	
安中坊歴史公園測量調査業務委託料	157万円
公民館等施設整備事業補助金	549万円
カヌーコース拡張可能性検討業務委託料	98万円
<b>■災害復旧費</b>	
町単独土木災害復旧事業	1,162万円
<b>■簡易水道特別会計</b>	
小山配水流量計修繕工事	38万円
石畑調整池送水管布設替工事	65万円
大井沢浄水施設補強土壁修繕工事	544万円

## 質疑・応答

**問** 現在使われていない湖月山荘の業務委託料の処分は何か。

**答** 浄化槽を休止し、現在たまって汚泥を処理する業務である。

**問** 鳥獣被害対策事業補助対象となる鳥獣は

**答** タヌキ、ハクビシ、ツキノワグマ、サル等である。

**問** 妙見ヶ池等整備工事の内容はどのようなものか。

**答** 雨による遊歩道の決壊及び土砂崩落の復旧工事である。

何か。

**問** 雪で倒壊した海味第一町内会館に対して、補助の特別措置は行なったのか。また現在の補助率(2分の1)の見直しを考えているのか。

**答** 他の施設同様、2分の1の補助率である。また、今後の見直しについては、今のところ現在の補助率を堅持する。

**問** ※融雪遅延対策事業は豪雪地の本町にとって欠かせない。現在は、豪雪対策本部を設置し、過去10年間の平均積雪量を上回るものが要件となっているが、今後も同じ方針なのか。

**答** 各地区の地域づくり計画の進捗状況を確認する会議があるので、そのとき意見をいただくながら検討していく。



▶ 月山湖500mの競技コース

※融雪遅延対策事業  
除排雪で田畑等の私有地に堆積した雪を、春に地区が機械で除去した場合に對しての町からの補助

# 一般質問

4人の議員が、次のことについて一般質問を行いました。  
議会だよりには、1議員1項目のみの掲載となりますので、詳しくは町ホームページの中にある議会録画中継「平成27年西川町議会 第2回定例会」をごらんください。

## 一般質問の通告タイトル

- 宮林 昌弘 議員 ◆高齢者等新たな介護施設、居住環境の整備促進について
- 奥山 敏行 議員 ◆第6次総合計画プロジェクト別主要重点事業の中より
- 佐藤 幸吉 議員 ◆高校通学体制の充実についての提言  
◆乾杯条例による振興策について
- 飯野 咲子 議員 ◆西川町の福祉施策について  
◆子育て応援施策について



宮林 昌弘 議員

## 高齢者問題 高齢者等新たな介護施設、居住環境の整備促進について

### 町長 介護事業所の対応は6月に



▲上山市の小規模多機能型居宅介護事業所「ながすずの里」

**問** サービス付き高齢者住宅と小規模多機能型居宅介護施設は、平成28年度開所、認知症グループホームは29年度開所と町長は公言してきたが、その整備促進について質問する。

**答** ①昨年9月の段階で、ケアハウス西川から整備及び運営が困難であるとの回答があったが、その後再検討を打診している。

②現在ケアハウス西川が行なっている事業と新たな施設での事業とは、施設及びサービスの機能や規模などの違いが大きく、経営の実績もないので、安定的な経営を行うためにはある程度の期間が必要になる。

③ケアハウス西川が整備及び運営する場合は6月中がタイムリミットである。公募による整備の場合は対応がまだ可能。

# 第3セクターの経営状況報告

第3セクター…町などの地方公共団体が50%以上出資し、民間企業と共同で設立した会社

## 第24期 西川町総合開発株式会社

今期は、消費税(8%)の増税もあり、売上の減少が懸念されました。6月から山形ディスプレイネーションキャンペーンが始まり、結果的に月山自然水前対比90%、地ビール月山前対比121%と明暗が分かれました。純売上高は、102%と前期を上回りましたが、売上原価が前対比107%と大幅増となったこと、販売費・管理費のうち人件費、水道光熱費、修繕費及び賃借料が高み、純損益がマイナス386万円となりました。

純資産額	4千754万円
累積赤字額	5千246万円 (万円未満は四捨五入)
資本金	1億円

### 質疑・応答

今後とも続けていくのか。  
今後とも続けていくので今後とも続けていく。

**問** 月山自然水の新たな顧客を獲得する取り組みをどのように行っているのか。

**答** 酒類卸(株)「山形ビール」の名称で発売した。今後、販売拡大が見込まれるのか。



▲月山地ビールとラベル変更の山形ビール

**問** ふるさとクーポンの会員数は210名で、前期より10名減っている。会員数を増やすための手だてはとっているのか。

**答** 1回5千円のお試しプランの取り組みを考えている。

## 第9期 株式会社米月山

主力商品の白い発芽胚芽米「月山まんなま」及び「つや姫」の販売実績は数量で6.6t、金額で48万円、関連商品でも3.6t、金額で31万円が目標を達成できませんでした。26年度は、経営改善を目標に収益性の向上と経費の節減を目指しました。町の多子世帯支援事業もあり、純利益39万円と黒字計上ができました。

純資産額	56万円
累積赤字額	1千944万円 (万円未満は四捨五入)
資本金	2千万円

※多子世帯支援事業 18歳未満の子どもが2人以上いる家庭に1人当たり10kgの米を配布したものである。

### 質疑・応答

**問** 仕入れはほとんど農協なのか。

**答** 9割以上が農協だが、今年度は

**問** 町の多子世帯支援事業がなくても黒字計上はできたか。

**答** 何とか赤字にならない見込みである。



▲白い発芽胚芽米



飯野 咲子 議員

# 子育て 子育て支援の拡充を

## 町長 就労の場の確保など総合的に考えていく

**問** 現在、子どもや高齢者の支援は市町村によって大きな格差が生じている。西川町の福祉行政は進んでいる方だ。しかし景気の回復も見込めない中、子供は日々成長し子育ては待ったなしである。さらに住みよい西川町の実現に向けて質問する。

**答** ①自治体間格差の解消や、定住環境整備など多方面から研究や検討が必要である。②現在、町立病院の医師など医療職に従事する人に対して、債務を免除している。子育て支援策として、育英奨学金制度だけでなく就労の場の確保など総合的に検討していく。③山形交通等の関係機関や関係者と協議し、よりよい通学網の整備を検討していく。④近隣市町と比較して十分に割安な「若者定住促進住宅」を整備した。利用拡大のため、子育て環境の充実等をアピールしながら広報を行なっていく。



▲西川小学校の給食風景



奥山 敏行 議員

# IJU ターン 西川町の豊かな未来のために

## 町長 支援体制を構築していく

**問** 6次総では元気な西川町をつくるために、町外からの若い力を受け入れる「IJUターン」移住者誘致に力を注ぎ、町内の空き家対策や耕作放棄地等も含め、有効な利活用で推進されるといわれているが、どのような進められるのか。また本年度サポートセンター設置を計画されているが、移住された方々とのコミュニティをどのように推進・構築・育成されるのか。西川町の豊かな未来のために、今どのような内容のシステムを進めるのか。

**答** IJUターンの流入促進に力を入れていく。これまでも空き家バンクの設置や就農支援対策に取り組んでいるが、移住者を受け入れるには、住む場所や仕事をはじめ、移住者の希望などに柔軟かつ総合的に対応することが求められる。サポートセンターの事務局を政策推進課内に設置し、受入業務や対応を一元化する。さらには、すでにIJUターンし、活躍されている方々をアドバイザーとして委嘱し、支援体制を構築していく。



▲庄内日報の記事

# ～親しまれる「議会だより」をめざして～ 募集! 議会だより読者モニター

よりわかりやすく、読みやすい「議会だより」にするために、読者モニターを募集します。中学生や高校生の皆さんも大歓迎です。ボランティアとしてのご協力をお願いします。

▼活動内容 議会だよりの感想をアンケート用紙に記入  
▼応募締切日 8月20日(木) 午後5時  
▼応募先 西川町議会事務局

電話：74-5055 FAX：74-2601 E-mail：giji@town.nishikawa.yamagata.jp  
※モニターの皆さんから寄せられた意見の一部を議会だよりで紹介いたします。

### これまで寄せられた主なモニターの声

- ・写真はもっと多いほうがいいと思う
- ・モニターになり、はじめて詳しく読んだ
- ・一般質問の文字がみどりで読みやすい
- ・写真の説明は、もっと工夫がほしい
- ・西川町にも独自の産業がほしい

## 議会の動き

### 議会全員協議会

- 5月1日 初議会の議事運営等
- 6月3日 地方版総合戦略の策定方針等
- 6月30日 サービス付き高齢者向け住宅及び小規模多機能型居宅介護事業所の合築整備

### 議会運営委員会

- 5月21日 第2回定例会の運営

### 総務厚生常任委員会

- 6月5日 請願審査・事務調査の検討
- 6月15日 サービス付き高齢者向け住宅及び小規模多機能型居宅介護事業所の合築整備

### 産業建設常任委員会

- 6月5日 請願審査・事務調査の検討
- 6月24日 西川四季まつり事業等

### 広報公聴常任委員会

- 5月22日 山形県町村議会広報研修会
- 6月5日 レイアウト会議
- 6月12日 議会だより編集会議
- 6月18日 議会だより編集会議
- 6月26日 議会だより第1回校正
- 7月1日 議会だより第2回校正
- 7月6日 議会だよりアドバイザー指導
- 7月8日 全国町村議会広報研修会
- 7月9日 議会だより第3回校正
- 7月9日 (6月21日議会運営委員会1人欠席、5月22日山形県町村議会広報研修会1人欠席、その他全員出席)

### 視察受け入れ

- 7月1日 福島県古殿町議会「議会広報誌」



佐藤 幸吉 議員

# 高校通学 高校通学の体制の充実についての提言

## 町長 町営バス代替えの可能性など総合的に考える

**問** 朝夕の忙しい時間帯を、家族の送迎に頼らざるを得ない学生が多いと聞くと、子育て支援と町の魅力づくりに結び付く重要な課題として、高校生の通学交通網を整備するために次のとおり提言する。

**答** 町の重要な子育て政策として、これまで登下校に合わせた運行に努めてきた。また、高校通学の問題は重要な課題と捉えている。



▲家族に送られる学生 (JR高松駅)

- ①左沢高校行きに加え、山形の通学交通網に町の路線バスを導入してはどうか。
- ②寒河江、谷地高校の通学定期券の補助策を検討してはどうか。
- ③谷地を含む山形からの帰宅時間帯の交通網の整備検討をしてはどうか。

- ①寒河江工業や寒河江高校を通る路線バスの設定なども検討し、山形交通との協議も行ってきたが、民間と競合する路線を運行するのは非常に厳しい状況にある。今後、家族の方々が送迎されている理由などを明確にし、関係者や関係機関と検討していく。
- ②町営バス利用の左沢高校の通学より通学費用が高く、格差が生じている。町営バスの代替えの可能性、下宿や家族送迎などの通学手段現状を踏まえ、総合的に考える必要がある。

# 改選後の初議会

～平成27年第3回臨時議会～

4月執行の町議会議員選挙後の初議会（平成27年第3回臨時議会）が、5月8日に開かれました。改選後の初議会であり、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に伊藤哲治議員、副議長に古澤俊一議員が当選しました。また、議会運営委員会や各常任委員会の新構成が次のように決まりました。

町からは議会選出監査委員の選任、町税条例等の一部を改正する条例の設定など3件の専決処分承認案が提出されました。

## 二つの使命を果たす

議長就任のあいさつ 伊藤哲治



議会の使命とは何でしょうか。

一つ目は、地方公共団体、町の具体的政策を最終的に決定することです。政策の形成過程及び実施過程に多面的に参画し、その所要所で重要な意思決定を行います。もちろん、現状では多くの政策は執行機関の側で作られ、議会に提案されていますが、議員として本会議や委員会での質問等を通して、予算、条例、契約等の審議を行い、最終的な町の意思決定を行う責務を負っております。

二つ目は、議会が決定した政策を、行政側がその行財政の運営や事業の実施を適正に、しかも公平効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し、監視する役目です。この批判と監視は、非難でもなければ批評や論評でもありません。

今日の地域社会は、激動する経済社会情勢の中で、日々進展し、変革しております。一人一人の議員が、たゆまぬ自己研鑽を積み、議会に課せられた二つの使命を職責と心がけ、開かれた活発な議会になるよう、また町の発展のため誠心誠意努力することを約束しあいさつとします。

## 議長・副議長選挙の結果

☆議長選挙	
当選	伊藤哲治 5票
	宮林昌弘 4票
	飯野咲子 1票
☆副議長選挙	
当選	古澤俊一 9票
無効	無効 1票



## 人事案件

☆監査委員の同意

佐藤 幸吉議員  
(全員賛成)

## 専決処分の承認

- ☆松原橋災害復旧工事請負契約金額の減額 (変更前)
- 6千725万4千800円
- (変更後)
- 6千708万2千400円
- 17万2千800円の減額 (全員賛成)

☆町税条例等の一部を改正する条例の設定

ふるさと納税の寄付限度額の拡充及び手続きを簡素化するものや、原動機付自転車及び二輪車等の軽自動車税の税率引き上げを1年間延長するもの等 (賛成8、反対1)

☆国民健康保険条例等の一部を改正する条例の設定

課税限度額の引き上げ等 (賛成8、反対1)

## 議員発議

☆議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

教育委員会の委員長職が廃止されたことに伴い、委員会への説明要求を教育長に改めるもの (全員賛成)

## 議会運営委員会

委員長	宮林 昌弘
副委員長	青山 知教
委員	横山 修
委員	佐藤 耕二

議会の運営や会議規則、委員会条例、議長からの諮問に関する事項を担当します。



## 総務厚生 常任委員会



総務課、政策推進課、町民税務課、出納室、健康福祉課、町立病院、教育委員会等に関する事務事業を所管します。

委員長	青山 知教
副委員長	佐藤 幸吉
委員	伊藤 哲治
委員	宮林 昌弘
委員	大江 広康

## 産業建設 常任委員会

委員長	横山 修
副委員長	奥山 敏行
委員	古澤 俊一
委員	飯野 咲子
委員	佐藤 耕二

産業振興課、商工観光課、建設水道課、農業委員会に関する事務事業を所管します。



## 広報公聴 常任委員会



議会活動の広報公聴と議会活動への町民の皆さんからの意見の聴取に関することを担当します。

委員長	佐藤 耕二
副委員長	飯野 咲子
委員	奥山 敏行
委員	大江 広康

### 西村山広域行政事務組合議会

議員	伊藤 哲治
議員	奥山 敏行
議員	横山 修

### 西川町町有林運営委員会 (議会選出)

委員	伊藤 哲治
委員	佐藤 幸吉
委員	飯野 咲子
委員	大江 広康

### 西川町林業活性化議員連盟

会長	伊藤 哲治
副会長	古澤 俊一
幹事長	横山 修
幹事	青山 知教
幹事	奥山 敏行
幹事	佐藤 幸吉
幹事	佐藤 幸吉

### 西川町道路整備促進協議会

会長	伊藤 哲治
理事	古澤 俊一
理事	横山 修
理事	佐藤 幸吉
理事	佐藤 幸吉

### 監査委員

佐藤 幸吉

# 選挙公約

4月の町議会議員選挙が無投票になり、選挙公報が発行されませんでしたので、全員の公約を掲載します。(議席番号順)

## おおえ 大江ひろやす

- 一、地域の声や町民の声を代弁し、新しい風を議会に届ける。
- 一、雪の対策や高齢者にやさしい安心して暮らせる町づくり
- 一、剣道・スポーツを通して、国際交流と観光を図り西川町の魅力を国内外に発信する。

## さとう 佐藤こうじ

- 誠意と熱意で  
豊かで活力ある町づくりを**
- 一、農林業、商工業、観光を新しい視点で見直しさらなる振興と雇用の場の確保に努めます。
  - 二、子育て支援、若者支援、高齢者支援を活性化し、住みたい町に努めます。
  - 三、安全、安心の町づくりに努めます。
    - 玄関先の間口除雪や流雪溝の設置等雪対策を。
    - 消防団の待遇を改善し自主防災組織の充実を。
    - 災害に強い町に。
  - 四、町立病院、介護、福祉の充実に努めます。
- 町民の皆様の視線で  
すみずみまで行き届いた議員活動を行います。

## よこやま 横山おさむ

- 西川らしさを町政に  
一次産業の活性化で雇用拡大**
- ☆森林資源活用
    - 伐採から製材、加工、木質バイオマスまで無駄のない木材利用による産業創造
  - ☆農業産出額の増大
    - 米作中心からの作物転換による生産額増大と農家所得の向上
- 地域づくり計画の早期実現**
- 6次総に掲げられた各地域づくり計画の早期実現
- 議会改革**
- 次世代の若者が立候補できる体制の確立

## 日本共産党 さきこ いいの咲子

- 会話を重視し、みんなが安心して暮らせる、住みよい西川町にするために、いっそう取り組んで暮ります。**
- ☆流雪溝の整備を急がせます。
  - ☆子どもの医療費無料化を高校卒業まで拡充させます。
  - ☆福祉灯油の制度化を目指します。
  - ☆国保税の引き上げにつながる広域化(都道府県化)に反対します。
  - ☆高齢者の生きがいづくりの支援を拡充させます。
  - ☆西川夏祭り(まねきの丘)の復活を目指します。
  - ☆東日本大震災の早期復興を願うとともに、あらゆる防災対策を強化するためにがんばります。
- みなさんと共に人口減少にストップを！
- 憲法9条を守り、平和な日本を！原発再稼働反対！
- 消費税増税中止を！地方創生と言うなら、社会保障の充実を！西川町から、声を上げて参ります。

# 選挙公約

さとこうこうきち  
**佐藤幸吉**

生きがいと夢が膨らむ  
魅力あるまちづくり  
頑張ります！

- 一、伝統文化を重んじ自然と人間が調和した町づくり！
  - ・四季の移ろいの中で培われた豊かな心と強く生き抜いた先人の知恵によって作り出された伝統文化を大切に、観光に結びつけるための努力をまいります。
- 一、雪国の快適な暮らしを充実させる町づくり！
  - ・除雪体制の充実を図り、高齢者の皆さんも安心して暮らせるようボランティア制度の強化を図ります。また水利権の確保を図り流雪溝の設置について努力をまいります。
- 一、明日を担う子供たちの教育環境の充実！
  - ・明日を担う子供たちのために豊かな自然の中で、学校、地域、家庭の連携により生き生きとした教育環境の充実を図ります。また高校生の通学バスの充実を図り安心して学業に専念できる体制をまいります。
- 一、福祉と健康の町づくり！
  - ・高齢者の皆さんが生きがいを感じ、安心して暮らせる諸施策の充実を図ります。また子育て支援策の充実に向け積極的に取り組んでまいります。
- 一、総合産業化の充実による活発な町づくり！
  - ・商業の活性化につながる施策を積極的に取り組んでまいります。総合産業化の充実を図り、町民の産業振興を進めてまいります。
- 一、人口減少を食い止め魅力ある町づくり！
  - ・西川町に住む優位性が実感できる町づくりに努力をまいります。

あおやま  
**青山ともり**

ひび  
人と人がつながりあって、響きあう町

みなさまの声を **かたちあるもの、施策** とするために頑張ります

- ◎ みんなで創るみんなで活きる、明るい創生の町づくりに努めます
- ◎ 心豊かにたくましく、人を慈しむ教育の醸成と子育て支援、生涯教育とスポーツの普及活動に努めます
- ◎ 新たな視点での、活力のある総合産業化と、若年雇用の創出のために努めます

**スピード！ シンプル！！ スピリッツ！！**  
**迅速に！ わかりやすく！！ 感性豊かな！！ 議会を目指します**

としゆき  
**おくやま敏行**

**西川町を元気に！**

西川町の未来に向け  
がんばります。



- 町を愛し、自然を愛し、スポーツを愛し子供たちを愛し、元気な町に
- 2020年東京オリンピックカーネー世界の選手練習会場を月山湖に1000mコース作り誘致を
- 西川小学校周辺整備し自然と楽しむ子供たちに夢を育て町を愛するフィールドづくり作戦
- IJUTターン者を受入れる優しい町づくり  
西川町未来ラボ
- 自然を活用した農林業から企業をおこし観光と商工業を結び夢のある町づくり
- 自然を利用した新しい産業への創造開発への支援
- 歴史文化の香り高い町内・食と観光のネットワークの構築を

みやばやし  
**宮林まさひろ**

町民目線で町民党 町職員の行政経験と町議2期の経験を活かし「町民と行政のパイプ役」として、「誠実と実行」をモットーに、  
全力で皆さんのために頑張ります。

基本理念 「町内各地域の振興なくして  
西川町の発展なし」

「地域づくりは、町づくり」であり、  
「町づくりは、地域づくり」である。

町と地域と町民の役割分担で 協働の町づくり

○ 国の地方創生策を活用し、西川町の存続をかけた第6次総合計画（キラリ☆月山、健康、元気、にしかわ）を着実に実践し、実現に努めます。

○ 「定住人口確保」・「産業振興・雇用創出」・「子育て支援」・「高齢者福祉充実」で「幸福度アップ、安全で安心な暮らしの確保」を推進します。

○ 「住んで見たい、住んでいたい、住んで良かった」と実感できる町づくりを更に進めます。

# 語ろう! 西川のために

## 第5回「議会と市民の対話の集い」開催

### 意見を! 未来のために

**★産業建設常任委員会**

- 1 月山銘水館及び周辺のリニューアル
- 2 町のいろいろな祭り
- 3 総合産業化



**★総務厚生常任委員会**

- 1 高齢者の住宅環境
- 2 小中一貫教育



**議会が調査している主な事項**

議会では、市民の皆さんと町政や議会活動について対話することを目的として、「対話の集い」を開催します。  
 どなたでも気軽に参加できます。  
 たくさんの方々の参加をお待ちしています。

#### ◆日程

期日	時間	地区	場所	担当
7月22日(水)	午後7時30分	海味	海味公民館	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
7月24日(金)	午後7時30分	網取	網取公民館	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
	午後7時30分	原・沼山	沼山多目的集会センター	伊藤哲治・宮林昌弘・横山 修 奥山敏行・佐藤耕二
7月27日(月)	午前10時	志津	志津会館	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
	午後7時30分	入間	入間公民館	伊藤哲治・宮林昌弘・横山 修 奥山敏行・佐藤耕二
	午後7時30分	本道寺	本道寺地区集会センター	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
7月28日(火)	午後7時30分	水沢	高齢者コミュニティセンター	伊藤哲治・宮林昌弘・横山 修 奥山敏行・佐藤耕二
	午後7時30分	岩根沢	岩根沢公民館	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
7月29日(水)	午後7時30分	吉川	吉川地区研修センター	伊藤哲治・宮林昌弘・横山 修 奥山敏行・佐藤耕二
7月31日(金)	午後7時30分	間沢	間沢公民館	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
8月 3日(月)	午後7時30分	小山	小山公民館	伊藤哲治・宮林昌弘・横山 修 奥山敏行・佐藤耕二
	午後7時30分	睦合	睦合公民館	古澤俊一・青山知教・佐藤幸吉 飯野咲子・大江広康
8月 5日(水)	午後7時30分	大井沢	大井沢交流促進センター	伊藤哲治・宮林昌弘・横山 修 奥山敏行・佐藤耕二

# 選挙公約

ふるさわしゅんいち  
**古澤俊一**

- ◎明るく楽しく元気で安心して、住みなれた地域で生活できる暮らしづくりに努めます。
- ◎市民の創造力豊かな知恵とアイデアで、地域資源を宝に磨き上げ、誇れる町づくりに努めます。
- ◎安心して託せる保育、学校教育、夢語る青少年育成のための環境づくりに努めます。
- ◎市民と共に歩む町議会にするために、対話を重視し、開かれた議会を目指します。
- ◎恵まれた自然や豊かな資源をいかした農林業、商工業、観光業の振興に努めます。

いとろてつじ  
**伊藤哲治**

- 住みつけたい  
活力のある町づくりをめざします。
- 一、西川町の気象・地理的条件を活かした、特色のある農産物の創出に努めます。
  - 二、地域資源活用型再生エネルギーの開発と雇用の拡大に努めます。
  - 三、急速な高齢化の進展に伴い、交通手段のない方々のために移動販売の確保のための体制や仕組みづくりに努めます。
  - 四、通学手段の充実等、次世代を担う若者や子どもたちが、健やかに育つことが出来る環境づくりに努めます。
- 町政との架け橋になれるよう頑張ります。

「女性」シリーズ 1

いわねさわ かい  
岩根沢うたおう会の活動



代表 渡辺 好子さん (岩根沢)

昭和63年、「岩根沢うたおう会」は二十数名の混声合唱団としてスタートしました。丸山薫詩碑保存会の総会で、子どもたちの詩の朗読とともにイベントとして丸山薫作詞の曲を歌うようになったのは、平成2年からです。

丸山薫が作詞した校歌3曲とNHKラジオ歌謡としてラジオから流された「遠い花火」、同じく「南の雨」の楽譜には、1952年という書き込みがあります。石碑に刻まれた「人目をよそに」は、この碑のために丸山先生が作られた詩で、どの詩集にも載っていないそうです。曲はどなたが作られたか分からないのですが、譜面に起こし、歌わせてもらっています。その他に「汽車にのって」、「はだか木の歌」の計8曲を、いまだに楽譜を見ながら歌っています。

今やメンバーもごくわずかになってしまい、発表の場もこの総会一度きりです。練習のために集まる5月から6月には、会えば和気あいあいに話が弾みます。

ほそぼそとはありませんが、続けることに意義がある、と周りの方々からも励まされながら、ハーマニーを楽しんでいます。



▲ 詩碑の前で献花をする子ども

※丸山薫詩碑保存会では総会の日に、前行事として参加者が詩碑に献花し、黙とうしています。

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は  
9月です

(9月2日~18日の予定)

《発行・編集責任者》  
議長 伊藤 哲治

《編集委員》  
委員長 佐藤 耕二  
副委員長 飯野 咲子  
委員 奥山 敏行  
委員 大江 広康

●ご感想お寄せください。

2014年夏、あの兵庫県の「号泣県議」が出現してから1年が経ちました。その後も、地方議員の質が何度か表面化しました。

地方議会は本来、住民にとって身近な存在であり、取り上げられる課題も日常生活に密接に関連した具体的なものです。私達は、町民の方々の話にじっくり耳を傾け、地域の課題や地域の痛みや本音をしっかりと受け止める必要があります。

4月の町議選は無投票でした。私も戸惑いがありましたが、これからの4年間、議員の質を下げないように、皆様の声を尊重し、曲がり角にきている町の将来をしっかり見据えていきます。

(佐藤 耕二)

編集後記